



浪江町

町政懇談会を開催しました

令和5年9月23日から10月14日まで県内5か所、県外2か所で町政懇談会を開催し、126人の住民の皆さまにご出席いただきました。懇談会では、町の施策について説明し、その後意見交換を行いました。その概要を報告します。

☎ 企画財政課情報統計係 ☎ 0240(34)0241

【参加人数】

日にち	会場	参加人数
9月23日	浪江町	33
	二本松市	15
10月2日	いわき市	14
	郡山市	19
10月6日	仙台市	18
	福島市	16
10月14日	東京都	11
計		126

● 町内の医療施設、介護施設の充実

【問】双葉郡で連携し医療施設・介護施設の充実を図り『最後までいられる町』を目指してほしい。

【答】施設の経営を成り立たせることは現状では厳しいが、双葉郡には必要な施設であるので、町としてしっかり検討していきます。

● 宅地の環境保全

【問】町民があまり帰還できていない現状で、町民の所有地の管理をどう考えているのか。

【答】個人の所有地に踏み込んだ対応は難しく、行政だけではの対応には限界があり、地域住民との連携した対応も必要と考えます。

● 帰還困難区域の今後の見通し

【問】帰還人口を増やすための一日でも早い除染と帰還にむけた具体的な取組や日程をお示しいただきたい。

【答】2020年代をかけて帰還意向のある住民が帰還できるよう、特定帰還居住区域が新設されました。町では年度内の認定に向け計画策定を進めており、国へ申請する前に住民への説明の場を設ける予定です。町全域の除染と避難解除を国に強く求めていきます。

● 住民票の特例措置

【問】住民票などさまざまな特例措置はどれくらい続くのか。

【答】いまだ帰還困難区域が残っている現状においては、いつまでという議論はされておりません。

● 高速道路無料化の継続要望

【問】高速道路無料措置の延長をお願いしたい。

【答】帰還困難区域も残っているので継続するものと認識しています。国に要望していきます。

● 国民健康保険税や医療費減免措置の継続要望

【問】減免措置の延長をお願いしたい。

【答】帰還困難区域については見直し時期は未定です。すでに解除された地域と同等の扱いになるよう国に求めていきます。

● 再生可能エネルギー

【問】ゼロカーボンシティ、カーボンニュートラルの先進モデル地区として駅周辺や産業団地の整備を進めていくとのことだが、具体的にどのようなことをしていくのか。水素燃料電池自動車の普及推進の補助金など、町民に向けた取組もあるのか。

【答】駅周辺整備や産業団地などのこれから新しく整備するエリアにおいて使用する電力をできる限り水素をはじめとした再生可能エネルギーで賄うことを目指します。町民に向けた取組としては電気自動車・水素燃料電池自動車の購入補助があります。

● 林業の再生

【問】「ふくしま森林再生事業」とあるが、具体的にどのような範囲・方法で整備しているのか。

順次、間伐などの森林整備や土壌の流出を防止するため対策を実施しています。実績として約80haの森林整備が完了し、引き続き同事業全体計画区域約870haの居住区域森林において計画・整備を進めていきます。

● 農地保全

【問】農地バンクの登録に向けて新たな営農者を探す話合いや、農地の保全に取り組んでいるが、地区だけでは難しいところがある。

【答】農地保全、営農は今後の復興の原動力であることから、地域営農の将来の姿を描く「地域計画」の策定について、町は県、農業委員会、県農業振興公社、農協などと連携して地域の方々と進めています。

広報紙では、主な意見・質疑応答を抜粋し、論点整理、要約して掲載しています。また、ホームページには町の施策の説明資料や意見・質疑応答の詳細を掲載していますので、ご覧ください。

町ホームページ

